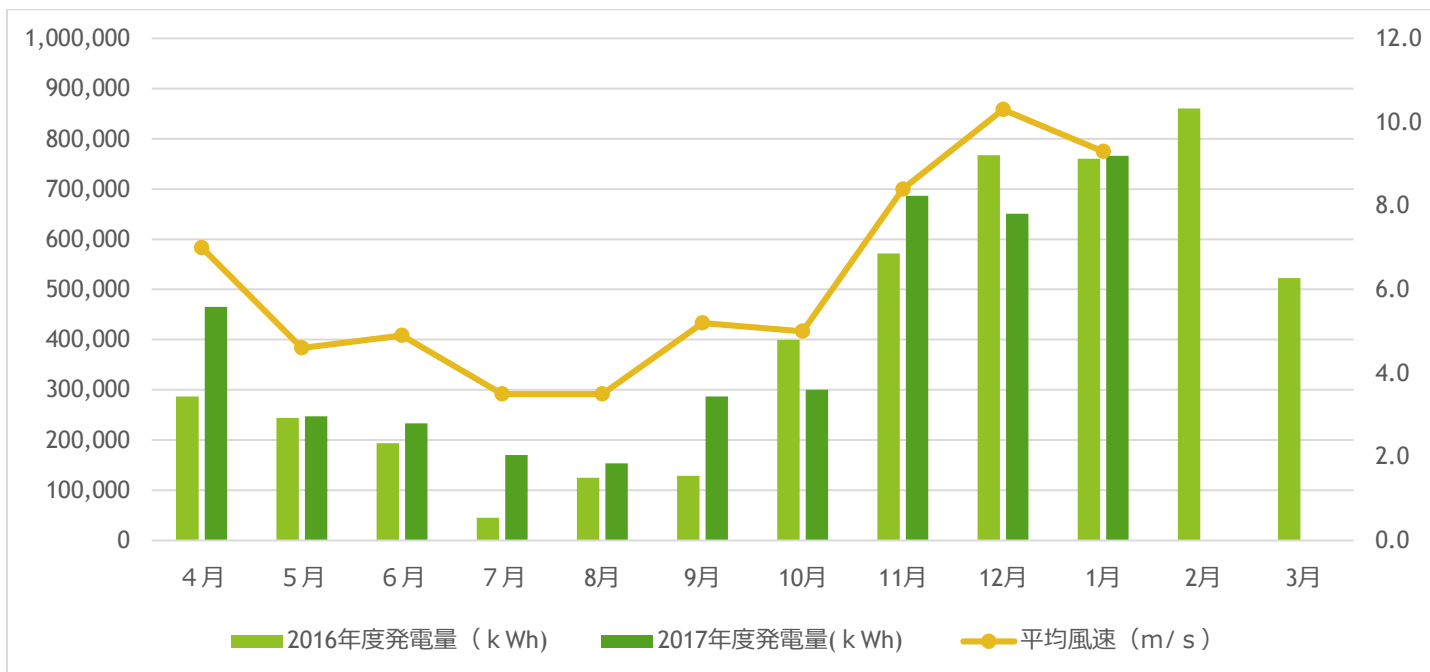


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 西村明子

## ○ 発電実績



## 風車「夢風」運転状況について

- 風況は昨年同月に比べ 0.7m/s 高い実績でした。大きなトラブルなく順調に運転しています。
- 2017年度実績の中で発電量が一番高くなりました。

## にかほ市情報

にかほ市で毎年立春に豊漁を祈って行われる掛魚(かけよ)まつりが金浦山神社と勢至公園広場一帯で今年も行われました。にかほ市特産の鱈を神社に奉納するお祭りで、鱈汁などもふるまわれます。今年は立春と日曜日が重なり大勢の人でにぎわったそうです。

勢至公園は桜の名所でもあり、春には観桜会も行われます。

鳥海山と一緒に眺める桜もとてもすてきです。旅のプランにいかがでしょうか。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	465,321	7.0	92.6
5月	247,330	4.6	84.5
6月	233,257	4.9	82.9
7月	170,227	3.5	84.9
8月	153,380	3.5	97.9
9月	286,896	5.2	95.0
10月	300,077	5.0	95.8
11月	686,714	8.4	94.8
12月	650,687	10.3	80.5
1月	766,337	9.3	97.6
2月			
3月			

## 理事会報告

1月31日(水)グリーンファンド秋田理事会を行いました。

- 仮称高森風力発電所建設の資金調達案と入札への対応について討議しました。
- 2017年度第3四半期決算報告および決算予測を行いました。10-12月の売電売上は計画比114%、4-12月実績は計画比106%でした。
- 2017年度事業活動のまとめと2018年度事業活動方針案を承認しました。
- 2018年度予算一次案を討議しました。
- 2018年度夢風ニュース発行計画案について承認しました。
- にかほ市との連携推進協議会開催報告
- 夢風ブランド開発生産者連絡会報告
- にかほ市での条例学習会開催報告
- 生活クラブ自然エネルギー基金への助成申請

## 映画「おだやかな革命」が劇場公開されました。

生活クラブ風車「夢風」と生活クラブの取り組みもこの映画で紹介されています。

2018年2月3日(土)東京の映画館ポレポレ東中野で、生活クラブ風車「夢風」や、生活クラブの取り組みについて紹介されている映画「おだやかな革命」の公開が始まりました。この映画は山形県鶴岡市にある有限責任事業組合いでは堂の渡辺智史監督が製作したドキュメンタリーです。人口減少問題を抱えた地域で自然エネルギー発電事業を始めた人々に焦点をあて、新たな生き方を提案しています。

公開初日には、監督のトークイベントや映画に取り上げられた地域にちなんだ、着るもの、食べるもの、エネルギーも自分たちで選ぶ事ができる、その選択が暮らし・地域・社会を変えていく事につながっているという「暮らしの選択」を考えるきっかけを届けるマーケット「SIMPLE LIFE MARKET」が行われました。

生活クラブ首都圏4単協自然エネルギー推進プロジェクトでは、映画でも取り上げられた伊藤製麺所の伊藤実さんに来ていただき、タラーメンと佐藤勘六商店のべっぴんさんいちじくを映画公開記念価格で販売しま

した。また、JA庄内みどり遊佐支店の阿部孝さん金子敏さんにおいでいただき、ポン菓子とひとめぼれ米の販売を行いました。

公開初日とあってイベントは大盛況で、夕方には準備した品物がすべて売り切れました。マルシェの会場では、映画の中で生活クラブの活動についてインタビューを受けた



伊藤製麺所 伊藤さん



JA庄内みどり  
阿部さん



生活クラブ千葉 船水さん  
奥は渡辺監督

生活クラブ千葉の船水香理事と、同じく映画で取り上げられている岐阜県郡上市の石徹白地区の平野彰秀さんが「映画の試写会で何度も見ているので初めて会った感じがしない！」と、初対面ながら旧知の間柄のような挨拶を交わすほほえましいシーンもありました。取り組む事業はそれぞれ違いますが、「再生可能エネルギー」で課題解決しようとしている人々が集まったマーケットにはおだやかであたたかな風が吹いているようでした。

映画を観に来た方もとても多く、映画館の前には長い行列ができました。昼と夜の部には整理券が発行されるほどとなり、公開期間もはじめの計画よりも延長されるなど幸先の良いスタートとなりました。

映画は順次全国で公開予定です。詳しい情報は映画「おだやかな革命」のホームページをご覧ください。<http://odayaka-kakumei.com/>

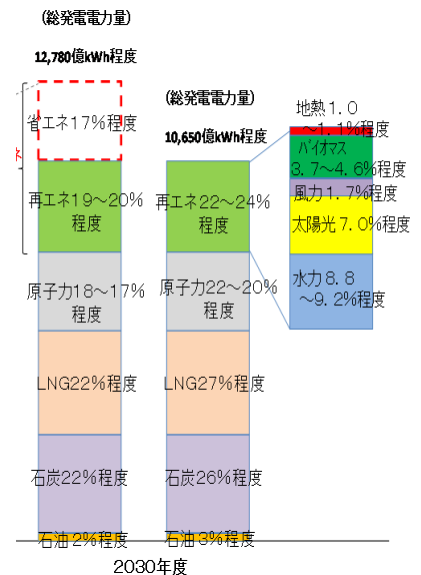


左から 生活クラブ千葉職員茂野さん 生活クラブ埼玉理事渋谷さん 生活クラブ東京理事岡部さん 生活クラブ東京職員知野さん グリーンファンド秋田鈴木事務局長

## エネルギー基本法の見直し議論について

2015年に現在のエネルギー基本計画が策定され、現在、この計画見直しに向けた討議が総合資源エネルギー調査会基本政策分科会で昨夏より開始されています。一方、この間2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と目標(SDGs)の設定、パリ協定における2013年比で2050年に80%の温室効果ガスの削減目標設定を受け、持続可能な社会形成についての関心が市民や企業でも高まっています。前回のエネルギーミックスでは、2030年の電源構成を再生可能エネルギーが22~24%、原子力発電が20~27%、石炭火力が22%でしたが、今回の見直し議論は、環境の変化を踏まえてエネルギー政策の再検討をすすめるチャンスだと考えます。

特に、再生可能エネルギー比率については見直す必要があります。日本においても自然エネルギーは、固定価格買取制度(FIT)の導入以来5年でその発電量に占める割合を15%を超えるまで増大させ(2016年)、多くの原子炉が稼働停止中の原子力発電に代わり、主力電源の一角を占めるようになりました。太陽光発電の買取価格が同じ期間に半減するなど、コストも低下傾向にあります。2050年で80%以上の温室効果ガス削減を実現するには、早期に現在の



2015年のエネルギーミックス  
原子力発電を利用する計画になっている。

電力需要の全てを脱炭素化することが必要であり、その中間目標として 2030 年までに自然エネルギーの電源割合を大幅に引き上げなくてはならないと思います。

また、原子力発電については、東京電力福島第一発電所の事故から6年経ってもなお収束のめども立たず、あわせて使用済み核燃料の処理問題も注目されています。現在、原発の発電比率は 1.8%程しかなく、政府は再稼働を推進していますが、進まない状況です。前回の原発の比率は見直し、すみやかに脱原発へ舵を切るべきです。

石炭 火力発電への執着も見直すべきです。石炭火力は、「最先端」の発電設備でも通常の天然ガス火力より 2 倍以上の二酸化炭素を排出します。こうした石炭火力を国内外で拡大しようとする日本の政策は、世界の気候変動対策を損なうとともに、日本の国際的な評価を低下させます。2030 年までのできるだけ早い時期に、フェーズアウトさせる必要があります。

現在、資源エネルギー庁の HP <http://www.enecho.meti.go.jp/> 上に「意見箱」が設置されています。是非、大勢の市民の意見を届けていきましょう。

グリーンファンド秋田 事務局長 鈴木伸予

## ぶらり人形町

グリーンファンド秋田東京オフィスのある人形町にちなんだ話題をお届けします。



白木がまぶしい本殿

は寶生弁財天が祭られています。水天宮のホームページによると「学業・芸能、又『寶生』の名のごとく財福のご神徳がございます。」との事なので、ここには念入りにお参りしたくなります。

グリーンファンド秋田東京オフィス界隈にはほかにも様々な神社があり水天宮も含めた七福神巡りが人形町商店街のホームページで紹介されています。パワースポット巡りや歴史散策をするのも楽しいところです。

グリーンファンド秋田 東京オフィスの最寄り駅は人形町駅、水天宮前駅です。水天宮前駅の階段を上がるとそこには数年前に建て替えられたばかりの白木も美しい水天宮があります。境内はビルの一隅ですが、四つ角に面した場所の利を生かした設計で、空がとても広々見え、都会の真ん中の神社とは思えません。戌の日のご縁日には子宝に恵まれた妊婦さんやご家族で大変な賑わいになるそうです。また、近隣の商店も「戌の日サービス」をしているそうです。

安産祈願にうちはしばらくご縁がなさそう・・・と思っていたのですが、境内に

